

OC_HACK_2018 宣言

今年度の多摩美術大学オープンキャンパスの[メインビジュアル](#)は、グラフィックデザイン学科大貫卓也教授による、「美」をモチーフにした大学のシンボルマークを再構成したものである。オープンキャンパスの公式サイトで、そのシンボルが生物のように次々に形を変えて描かれる様は、シンボルが持つ常識を突破する力と、そのダイナミックな変形可能性を鮮明に表現している。

ウェブ上でこのヴィジュアルデザインが公開された当初、そのファイルは、図形を座標の数値で表記するSVG形式で記述されていた。そこでまずこのデータをもとに、メインビジュアルをProcessingというプログラミング言語で表示できるように移植した。参加メンバーは、このソースコード（プログラム）を出発点に、それを自在に改変していくことで、メインビジュアルの中に潜む、未知なる色や形、動きや重なりを引き出し、生成展開することを試みた。

コンピュータ上のプログラムコードで記述されたデザインは、実行されるたびに新たに生成（消滅）され続け、ソースコード改変され増殖し続ける事で、予測不可能な進化を遂げ、半ば無限に記録/再生産され続ける。

このOC_HACK_2018は、この境界なきオープン・デザイン、オープン・アートの理念をベースに、メインビジュアルをコードによってハック（改造）することで、その精神を広く社会に伝え、解放していくことを実践共有するためのプロジェクトである。

テキスト：西村梨緒葉（[多摩美術大学メディア芸術コース](#) メディアラボ3年）

監修：久保田晃弘

GitHub : https://github.com/CreativeVisualization/OC_HACK_2018

Instagram : https://www.instagram.com/idd_art/

Google Docs (this text) : <http://bit.ly/2Lb4R0P>